



JASDAQ

平成 24 年 12 月 21 日

各 位

東京都千代田区麹町一丁目 4 番地
株式会社ファンドクリエーショングループ
代表取締役社長 田 島 克 洋
(コード番号：3266)
問合せ先： 経営企画部長 吉田 隆
電話番号： (03) 5212-5212(代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 24 年 8 月 20 日付で開示いたしました平成 24 年 11 月期（平成 23 年 12 月 1 日～平成 24 年 11 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。なお、現在、監査法人による期末監査を受けており、決算数値に変更が生じる場合は速やかに開示いたします。

記

1. 平成 24 年 11 月期 連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回公表予想 (A)	6,325	165	54	50
今回修正予想 (B)	6,153	△36	△118	△132
増減額 (B - A)	△172	△201	△172	△182
増減率 (%)	△2.7	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 23 年 11 月期)	842	29	△31	66

2. 修正理由

当社グループでは、これまでファンド運用資産及び不動産等受託資産残高の積み増しを図るべく、新規ファンド組成及び不動産等受託資産の新規受託に注力してまいりました。

この結果、本年 9 月には資産規模で約 93 億円（鑑定価額ベース）の不動産の新規アセットマネジメント契約を締結するなど成果が現れ始めましたが、ファンド運用資産残高におきましては計画で見込んでおりました目標残高の積み上げまでには至らなかったため、当初から見込んでおりました不動産物件取得に係るアクイジションフィー等のアセットマネジメントフィーの計上が来期以降にずれ込むこととなりました。

この結果、誠に遺憾ながら、業績を下方修正することとなり、売上高は前回予想比で 172 百万円減少し 6,153 百万円の見込みとなりました。一方、利益予想につきましては、営業利益は売上高減少等の影響に加え、販売用不動産関連費用 26 百万円などが加わり前回予想比で 201 百万円減少し△36 百万円の営業損失の見込みとなりました。経常利益は、受取配当金の増加、支払利息の減少等の増益要因があったものの、営業損失の計上により前回予想比で 172 百万円減少し△118 百万円、当期純利益は、前回予想比で 182 百万円減少し△132 百万円の見込みとなりました。

今後も引き続きアセットマネジメント業務の様々な経験・実績を生かし、不動産マーケットのニーズと市場環境の変化に迅速に対応しながら、ファンド運用資産残高及び不動産等受託資産残高の拡大に尽力してまいります。

以 上